

参加報告：第14回天然染料顔料会議 福岡、2017年11月11-12日



△実習前日に津屋崎に自生するクルマバアカネ *Rubia cordifolia pratensis* を採取



△11日染色実習：クルマバアカネ抽出液の中和



△クルマバアカネの生根による絹の染色
生紫根抽出液によるタイシルクの染色



△クサギの実による染と生紫根染△熊本産キハダの抽出液を八女和紙に引き染め



△研究報告 角寿子（事務局長）



△研究報告 牛田智（会長）



△研究報告 江口久美(九州大学決断科学センター)



△松枝小夜子さん（松枝織物）
国指定無形文化財技術保持者



△紫根染紬、サフラン染紬、紫根染研究資料（氏田眞弓）△琉球藍、フクギ他による手染の衣(澤野孝-kitta) △八女和紙づくり体験
紫根、樗、黄檗、藍染の和紙と苧麻(角寿子)、九州の染料植物による染色（津屋崎藍いろの会、渋谷和美、柴田奈緒美、山本佳乃子）



研修：重要無形文化財技術保持者久留米絣工房「森山絣工房」 藍染、手括り、絣糸管巻、織の解説



研修：重要無形文化財技術保持者久留米絣工房「山藍」手括り、絣糸の藍染の解説、織の実演

